

開成南小学校 学校だより

みなみの風



平成
30年
10月



“開成南小学校”の代表選手として……！

10月15日（月）励ます会
10月16日（火）連合体育大会

日本陸上競技連盟第2種公認の陸上競技場でもあり、ラグビーワールドカップ2019の日本代表合宿にも使用されている、小田原市城山陸上競技場に今年度から舞台を移し、6年生が出演している“足柄上郡小学校連合体育大会”が、より本格的な恵まれた環境で実施されました。

大会に先立って前日10/15（月）の朝には、5年生以下がまとまって、「6年生を励ます会」を実施してくれました。選手団の6年生全員を迎える花道づくりから、進行・プレゼント・エールなど、会の全てを6年生に代わって見事に実行することができました。

先生方も競技のコーチングをはじめとして、グラウンドのコースづくりやライン引き、大会派遣準備など全教職員が支援しています。

また、開成小学校との合同練習会を10/11（木）に実施し、よい刺激の与え合い、受け合いをました。町内約170名の小学校6年生が一堂に会しても陸上競技の練習ができる本校のグラウンドは、圧巻です。100m走路も直線で用意が可能ですし、ソフトボール投げエリアや走り幅跳びエリアも同時に確保できます。校舎の美しさが目立つ開成南小ですが、実はグラウンドの広さについても、先日の運動会をはじめ、このような機会などで、その素晴らしさを再確認できます。

努力は、必ずしも競技結果や順位へ結びつくものではありませんが、恵まれた環境で学校の諸活動ができることや多くの方々の志や支援を受け、晴れ晴れと当日の競技に臨めたことを微笑ましく感じます。がんばったね、6年生！！



米づくり作業、順調です！



5年生

9月下旬～10月上旬



運動会の直前に刈り取った稲の「稲架掛（はさか）け」を、10月にかけて5年生の総合教室で行っていました。朝、窓を開け放つ前の校舎内に広がる“稲の匂い”に、秋の深まりを感じました。

最近ではコンバインを用いて収穫をしてしまう田圃が多いようですが、昔ながらの方法に、米づくりの苦労や知恵を学び、一層学習を深められています。

今年の「みなみ米（？）」の出来具合は、果たしてどうなのでしょう？手をかけ愛情を注いだ農作物は間違いなくおいしいと思います。試食が楽しみです。

稲架掛（はさか）け

- ・刈り取った稲を空気中で乾燥させ水分量を減らす工程。続いて、脱穀（だっこく）、籾摺（もみす）りなどを行っていく。
- ・乾燥させて水分量を減らさないと、米の品質が長期間は保持できない。
- ・コンバインにより、籾（もみ）で収穫し、機械乾燥が主流。





「安全朝会」 校舎内での歩行は大丈夫？



10月9日 (火)

歩行者同士の事故は、車両のようにどちらに優先権があるなど決まっていません。歩行者同士は周囲に配慮し、安全に気を配って移動しています。

校舎内も同じで、お互いにちょっとずつ気を遣いながら、安全で健康的な学校生活の実現を目指しています。

そのために、例えば通行する側など自然発生的に、学校に応じた独自の生活ルールやマナーなどが、校舎内のみならず各家などにもあると思われます。

今回の朝会では、それらを再確認・再意識するとともに、現状を振り返ってみました。

担当の岩谷教諭から、階段や廊下、昇降口付近などの歩行状況の様子が示されました。時折、校内を駆け足で通行している姿を見掛け、残念に思っています。幸いにも、現在まで大きな怪我の発生にはつながっていませんが、出合い頭の衝突などで、保健室のお世話になっている人も見かけます。当たり前のことですが、怪我にまでつながってしまうと、した方もさせた方も嫌な思いをしてしまいます。開成南小学校の児童の「品行方正」な校舎内生活の向上を期待します。

校内の過ごし方 (開成南小 抜粋)

- ・学校内は静かに歩きましょう
- ・授業中に廊下を移動するときは、授業の邪魔にならないように気を付けて、教室と反対側を静かに歩きましょう。



今年は芝生が いい感じ です。ありがとうございます！



9月~10月



先日、学校に来られたお客様から「今年は芝生がいい感じですね…」と、お褒めの言葉をいただきました。

6月の植栽作業や真夏の灌水、ボランティアの方々や自動芝刈り機「しばちゃん」の活躍、運動会時の芝生募金等、多くの方々の御理解と御協力の効果により、今年は芝の生育がよいようです。

運動会の昼食時や平生の授業でも芝生が利用されている光景がありました。9/26 (水) は開成幼稚園の園児が遊びに来て、芝生を使ったボールあそびに興じていました。来校の際は、校舎南側も覗いてみてください。



季節のたより

CS 真っ最中ですが、今月末の 10/25 (木) には NPB ドラフト会議が行われ、続いて 10/27 (土) からは日本シリーズが始まる等、まだまだプロ野球好きにとっては、シーズン終盤の熱いドラマが展開されていく模様です。

プロ野球選手の選手契約期間は、2月1日から 11 月 30 日までなのですが、11 月中旬 (今年は 11 月 13 日 (火)) には、その年の戦力外通告を受けた選手を中心に、次年度への戦力を発掘すべく“12 球団合同トライアウト”が開催されています。「情報社会」の現代、選手個々の埋もれた才能をこのトライアウトのみで掘り出すテストの意味合いは薄れ、当初の目的から変化し、いわば受験選手個々の”引退試合 (引退実践練習?)”として、ユニフォーム姿でプロの力と技を披露する最後の舞台に位置付いているケースもあるようです。

そして、そんな元プロ選手をスカウトしに異業種の採用担当者も来場するようです。主に営業職として、これまでに培ってきた人付き合いの広さや試練を乗り越え養われてきたガッツ、チームワークを大切にする姿勢等を、セカンドキャリアに生かせそうな人材を探しているそうです。

幼い頃からそれ一筋の場合が多く社会経験は乏しいものの、別のその世界で少し経験を積めば、新しい世界で力を発揮できそうな元選手も多いそうです。ポイントは「未練を断ち切る」ことで、「もう〇〇は十分にやり尽した。人生の次の段階へ歩みを進めよう!」と、チャンスとして切り替えられる意識が成功の秘訣なのだそうです。「リタイア」ではなく「ステップアップ」や「他へチャレンジ」と捉えられれば、気持ちよく次のステージへ向かえますね。(担当)

